

平成30年度第1回白井市立図書館協議会（概要）

- 1 開催日時 平成30年7月26日（木） 15:00～16:40
- 2 開催場所 白井市立図書館2階 研修室2
- 3 出席者 委員 尾形会長、柏木副会長、田代委員、大石委員、野坂委員、中野委員、北原委員
事務局 井上教育長、川上文化センター長、鎌田館長、内山副主幹、藤田主査
- 4 傍聴者 2名
- 5 会長あいさつ
- 6 教育長あいさつ
- 7 報告事項
 - (1) 図書館概要について
 - (2) 平成29年度図書館事業実績報告について
 - (3) 平成30年度図書館事業計画について
- 8 協議事項
 - (1) 図書館運営の目標値の達成状況と改善点について
 - (2) 公共施設等のあり方の検討について
- 9 その他
- 10 配布資料
 - (1) 会議次第
 - (2) 会議資料
 - (3) 文化センターだより4・5・6・7・8月号
- 11 議 事 以下のとおり

会長	連日猛暑の中、お集まりいただきありがとうございます。新図書館長就任となってから最初の会議となる。活発な忌憚のない意見をいただき充実した会議にしたい。
事務局	報告事項 (1) 図書館概要について (2) 平成29年度図書館事業実績報告について (3) 平成30年度図書館事業計画について
会長	国会のデジタル化資料送信サービスの利用は専門的な利用が多いのか。
事務局	専門的な利用が多いように思われる。 協議事項 (1) 図書館運営の目標値の達成状況と改善点について (2) 公共施設等のあり方の検討について 1 開館時間の縮小について

会長	メリットとデメリットだけしか示されておらず、比較をする判断材料としての指標が必要ではないか。
事務局	今の時点では、詳細な数値を出すことができない状況である。秋以降の協議会ではある程度お示しできるようにしたい。
委員	家計簿でたとえるなら、収入が減ったのでどこを減らせるかということであれば、案1の週6日間午後5時閉館でよいと思う。勤務時間の均一性を図れるし、シフト表作成などの時間を削減できる。
委員	夜間開館を2時間短縮して、どれだけ光熱費が削減できるのかを知りたい。
委員	サービス水準・蔵書数を減らさないために、開館時間を短縮することはよいと思うが、週6日全て午後5時閉館は極端なのではないか。夜間の利用状況はどうか。
事務局	すでに入館している利用者が長く滞在している。全体の入館者数は同じでも閉館時間が延びると、各時間に人数がばらけるようである。
会長	夜間開館はコストパフォーマンス的にはどうか。
委員	判断材料としてのデータが必要である。午後5時で閉館している図書館はあるのか。
事務局	近隣のA市立図書館は週1回の夜間開館があり、それ以外の日は午後5時閉館である。県外のB市立図書館は財政緊縮のため午後8時閉館を短縮し、午後6時までの開館にした。
委員	センター図書室の閉室時間も午後5時である。私は市民ではないが、午後5時以降に利用することが多い。週の内1日くらいは夜間開館して欲しい。
事務局	時間別入館者数・利用数の統計や光熱水費については、後日資料をお渡ししたい。
会長	市役所職員は、業務が終わってから図書館を利用しているのか。
事務局	職員の一割程度は、図書館を利用しているようだ。昼休みや休日の時間帯が多いようだ。

委員	案1を試行後に検討しても良いのではないかと。もっと言えば、週1日ではなく月1日だけ夜間開館にしてはどうか。「毎月1日は夜間開館の日」にすればわかりやすいと思う。また、市役所に夜間窓口を設けて貸し出すのはどうか。
会長	落としどころをどこにするか、考える必要がある。
委員	近隣のA市立図書館は週1日で夏午後8時、冬午後7時閉館である。白井は火曜日から土曜日まで午後7時まで開館していて、文化レベルが高いと感じた。私は案2が良いと思う。逆に開館時間を遅くすることはできないか。
事務局	色々なご意見を受けて、今の午前9時半開館に落ち着いている。
委員	夜間開館の試行を火曜日で始めたけれど、アンケートの結果で金曜日に変更するということもありえるのか。
事務局	曜日はアンケート結果などにより、変わる場合もある。また、市の財政状況によっては、夜間開館を行わない選択もある。
会長	午後5時以降に本を取りに行く場所を新たに設けることができるか。
事務局	新たな場所の確保とシステムの構築費用が問題になる。市の財政規模が豊かなC市立図書館は駅に近い分館があり、遅くまで貸し出しを行っている。
会長	図書館利用者の機会損失にならないようにしてほしい。
事務局	利用者の意見は大切なので、アンケート結果を考慮する。
会長	インターネットなども利用して、試行してみてどうだったかを評価することが必要だ。
事務局	(2) 公共施設等のあり方の検討について 2 貸出冊数と予約件数の変更について
事務局	貸出規則の見直しを考えている。平成28年度アンケート結果では、貸出期間は3週間が良いという意見が大半であった。そこで、今回は期間ではなく冊数の変更を試行し、貸出状況を調査したい。貸出規則の変更は、行ったことはない。
委員	予約待ちありの貸出期間は、案1の貸出期間を短縮するに賛成である。

会長	予約順番待ちをしている利用者へ時間がかかる等認識を変えるよう促す必要があるのではないか。
委員	案2に賛成。貸出冊数を増やすと蔵書の少ない視聴覚資料がなくなってしまうのではないか。
委員	3週間から2週間に変えてよいと思う。図書館を利用する人は3週間がよいと思うが、利用していない人の意見も聞いたほうが良い。資料の回転について考えたら貸出期間を短くするのが良いのではないか。
委員	白井の貸出期間の3週間は大変ありがたい。貸出冊数を増やせるのなら増やしたほうが良いと思う。夜間開館のサービス低下部分を他のサービスで補うことにもなる。
委員	子供の絵本を多く借りられるので、貸出冊数の増加は賛成である。3週間の貸出は、やはり魅力的である。
委員	全てのサービス低下は残念である。その点、貸出数を増やすのは、良いと思う。貸出期間2週間は、段階的に考えていけば良いのではないか。
会長	代案を提示してサービスを補う説明の仕方が必要と考える。アンケートは図書館の目的を説明してから行って欲しい。 利用環境が二極化している。年齢や住居地域が共存できるような体制がとれるとよいと思う。
委員	次回の協議会までに、お金を稼ぐための歳入をどうするか、私たち委員がそれぞれ考えてくるのはどうか。
事務局	図書館には「無料の原則」がある。次回の会議までに資料を用意したい。アンケートの項目についても相談させていただきたい。
事務局	9 その他 蔵書点検結果報告
会長	前回もお願いしたが、図書館内でWi-Fi 設置を検討していただきたい。
事務局	次回は年内に行なう予定である。長時間にわたりありがとうございました。